

第4学年 国語科学習計画（シラバス）

【第4学年 国語科の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 白いぼうし ② 図書館の達人になろう ③ 漢字辞典を使おう ④ きせつの言葉1 ⑤ 聞き取りメモのくふう ⑥ カンジー博士の都道府県の旅1 ⑦ 漢字の広場① ⑧ アップとルーズで伝える ⑨ お礼の気持ちを伝えよう ⑩ 漢字の広場② ⑪ 一つの花 ⑫ つなぎ言葉のはたらきを知ろう ⑬ 短歌・俳句に親しもう（一） ⑭ 要約するとき ⑮ 新聞を作ろう ⑯ カンジー博士の都道府県の旅2 ⑰ 季節の言葉2 ⑱ 本のポップや帯を作ろう ⑲ 読んでみよう ⑳ 詩を味わおう ㉑ あなたなら、どう言う ㉒ パンフレットを読もう ㉓ どう直したらいいかな ㉔ いろいろな意味をもつ言葉 ㉕ ローマ字を使いこなそう ㉖ 漢字の広場③	① 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話す。 ② 本のラベルや支所の役割について知り、必要な本を探す。 ③ 漢字辞典の使い方を知る。 ④ 春の行事の様子を伝える手紙を書く。 ⑤ 大事なことを考えながら聞き、工夫してメモを取る。 ⑥ 都道府県の漢字を学習する。 ⑦ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。 ⑧ 文章構成や段落どうしの関係を確認、筆者の考えを捉える。 ⑨ 手紙の型に沿って、丁寧な言葉で気持ちを伝える。 ⑩ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。 ⑪ 場面の様子を比べて読み、感想を書く。 ⑫ 接続する語句の種類と使い方を知る。 ⑬ 短歌・俳句を読んで親しむ。 ⑭ 「要約」の意味を知り、文章を要約する。 ⑮ 新聞の作り方を知り、事実を分かりやすく伝える。 ⑯ 都道府県の漢字を学習する。 ⑰ 夏の行事などを俳句にする。 ⑱ 読んでほしい1冊をポップや帯で紹介する。 ⑲ 紀行文を読む。 ⑳ 詩から受けた印象を伝え合う。 ㉑ それぞれの立場に立って考え、よりよい言い方について考える。 ㉒ パンフレットが作られた目的や対象を踏まえて、目的に応じた読み方があることを理解する。 ㉓ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文章を推敲する。 ㉔ 複数の意味をもつ言葉について、文脈から意味を判断する。 ㉕ ローマ字の使われ方や二つの書き方があることを知る。 ㉖ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。
2学期	㉗ ごんぎつね ㉘ 漢字を正しく使おう ㉙ 季節の言葉③ ㉚ クラスみんなで決めるには ㉛ 未来につなぐ工芸品 ㉜ 工芸品のみりよくを伝えよう ㉝ 慣用句 ㉞ 短歌・俳句に親しもう（二） ㉟ 漢字の広場④ ㊱ 友情のかへ新聞 ㊲ もしものときにそなえよう ㊳ 季節の言葉④ ㊴ 自分だけの詩集を作ろう ㊵ 言葉から連想を広げて ㊶ 熟語の意味 ㊷ 漢字の広場⑤ ㊸ 風船でうちゅうへ ㊹ つながりに気をつけよう ㊺ 心が動いたことを言葉に ㊻ 調べて話そう、生活調査隊 ㊼ スワンレイクのほとりで ㊽ 漢字の広場⑥	㉗ 気持ちの変化を読み、考えたことを話し合う。 ㉘ 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使う。 ㉙ 秋の行事の楽しさを伝える手紙を書く。 ㉚ 役割を意識して話し合う。 ㉛ まとまりごとに中心となる語や文を確認、分量を考えて要約する。 ㉜ 理由や事例を挙げて考えを伝える。 ㉝ 慣用句の意味を調べ、例文を作る。 ㉞ 近代の俳句・短歌を音読詩、言葉の調子や響きに親しむ。 ㉟ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。 ㊱ つながりを見付けながら読み、人物の行動や様子の理由を想像する。 ㊲ 理由や例を挙げて、自分の考えを伝える文章を書く。 ㊳ 季節を感じる行事について、様々な形態の文章で知らせる。 ㊴ テーマやモチーフを決めて詩を集める。 ㊵ 言葉の連想を広げて、表現の工夫を考える。 ㊶ 二字の熟語の組み合わせについて知る。 ㊷ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。 ㊸ 興味を持ったことを中心に要約して紹介し合い、文章に対する感じ方の違いやよさを考える。 ㊹ 語のつながりや、文や段落どうしの関係を整理、正確に伝える。 ㊺ 詩を書いて、言葉や表現の工夫について感想を伝え合う。 ㊻ 調べたことを、資料を見せながら、聞く人に分かりやすく話す。 ㊼ 人物の思いについて、観点を選んで読み深め、互いの考えを比べながら交流する。 ㊽ これまでに習った漢字を書き、文や文章の中で使う。

身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・指示する語句と接続する語句、段落の役割について理解できる。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報の関係について考えながら読むことができる。 ・辞書や事典の使い方を理解し、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークテスト ・カード ・ノート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係に注意して文章の構成を考えている。 ・経験したことから書くことを選び、材料を比較、分類して伝えたいことを明確にして書いている。 ・中心となる語や文を見つけて要約し、目的を意識して読んでいる。 ・話の中心を捉え、自分の考えをもって聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して話題を決め、すすんで話し合っている。 ・伝えたいことを明確にして、すすんで文章を書いている。 ・文章を読んで理解したことに基いて、すすんで感想や考えをもっている。 ・登場人物の気持ちの変化について想像し、考えたことをすすんで文章にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート

家庭へのお願い

- 漢字の宿題が毎日出ます。誤字脱字がないか、丁寧に書いているかの確認をし、ノートにサインをしてください。いつも丁寧に書こうとすることで、誤字脱字が減り、ある程度のスピードでも丁寧に書けるようになります。多くの漢字を覚えることにもつながります。
- 音読の宿題も毎日出ます。音読を繰り返すことで、学習内容の理解が深まります。また、声に出すことに慣れ、人に言葉で伝える練習になり、表現力も養われます。
- 読書の習慣付けのために、ご家庭でも読書の機会をもつようにしてください。
- 3年生で国語辞典を、4年生で漢字辞典の使い方を学習します。ご家庭でも準備していただき、活用できるようにしてください。

第4学年 社会科学学習計画（シラバス）

【第4学年 社会科の目標】

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現している。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員として自覚している。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 都道府県を調べよう～東京都の様子～ ② 水はどこから ③ ごみの処理と再利用	① 東京都の様子について、我が国における東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種資料などを用いて調べ、白地図などにまとめる。東京都の位置や全体の地形、主な産業、交通網や年の市などの情報を総合して、東京都の地理的環境の特色を考え、表現することを通して、東京都の地理的概要及び、47都道府県の名称と位置を理解する。 ② 飲料水などを供給する事業について、供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめる。それらの事業が果たす役割を考え、表現することを通して、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。 ③ 廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、都内外の人々の協力などに着目して、見学、調査したり、地図帳などの資料を活用して調べたりしてまとめる。廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、衛生的な処理や資源の有効活用ができるように進められていることや、地域の人々の生活環境の維持と向上を支えていることを理解する。
2学期	④ 水害から暮らしを守る ⑤ 受けつがれる祭り～武蔵府中くらやみ祭～ ⑥ とどけよう水の命～玉川兄弟と玉川上水の開発～ ⑦ 染め物のさかんな新宿区 ⑧ 世界とつながる大田区 ⑨ 江戸の文化を伝える浅草	④ 自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり地図や年表、文書などの資料で調べたりしてまとめる。災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対して、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解する。 ⑤ 東京都で受け継がれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取り組みなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして年表や文などにまとめる。人々の努力を考え、表現することを通して、東京都の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解する。 ⑥ 玉川上水の開削に尽くした玉川兄弟の業績について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして年表などにまとめる。開削工事の様子を捉え、当時の生活の向上や地域の発展と関連付けて玉川兄弟の働きを考え、表現することを通して、玉川兄弟は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上や地域の発展に貢献したことを理解する。 ⑦ 染め物産業の盛んな新宿区の様子について、盛んな地域の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料を活用して調べて、白地図などにまとめる。地域の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、様々な立場の人々が協力しながら特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解する。 ⑧ 国際交流について取り組んでいる大田区について、位置や国際交流活動の背景、関係機関の人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料、ホームページなどで調べ、文章にまとめる。地域の様子を捉え、大田区の特色を考え、表現することを通して、大田区では、人々が協力し、国際都市を目指しまちづくりをしていることを理解する。 ⑨ 伝統的な文化を保護・活用している浅草について、その位置、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめる。浅草の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することを通して、浅草では、歴史ある建造物やまち並み、祭りなどの地域の伝統的な文化を引き継ぎながら、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。

身に付けさせたい力

評価の観点	社会科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの県の位置や地形、主な産業の分布など地理的環境の概要及び47都道府県の名称と位置とともに、県内には地理的環境などの特色を生かし、まちづくりや産業の発展などに努めている地域があることなどを理解できる。 ・飲料水、電気、ガスを供給する事業や廃棄物を処理する事業は人々の健康や生活環境の維持と向上に役立っていることや、地域の関係機関や人々は自然災害に対し様々な対応や備えをしていることなどを理解できる。 ・県内の文化財や年中行事は地域の人々の願いが込められ受け継がれていることや、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により生活の向上に貢献したことなどを理解できる。 ・自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きのいずれにおいても、地域の人々の生活との関連を考えることを通じて、地域における社会生活について理解できる。 ・調査活動や資料を通して、学習問題の追究・解決に必要な情報を集め、読み取り、白地図や年表などにまとめる技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリント ・調べ学習 ・ワークテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの県の地理的環境の特色、飲料水、電気、ガスを供給する事業や廃棄物を処理する事業が果たす役割、自然災害から人々の安全を守る活動の働き、文化財や年中行事に込められた人々の願いや努力、地域の発展に尽くした先人の働きなどを考えている。 ・節水や節電、ごみの減量や水を汚さない工夫、自然災害に対する日頃からの備え、伝統や文化の保護・継承などに関して、地域や生活における課題を見だし、それらの解決のために自分たちができることを選択・判断している。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味について考えたことや、社会への関わり方について選択・判断したことを、文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を追究・解決するために、社会的事象について意欲的に調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしていたりしている。 ・学習を振り返り、学習したことを確認するとともに、学習成果を基に生活の在り方やこれからの地域社会の発展について考えようとしている。 ・地域社会についての理解を踏まえて、自分たちの生活している地域社会としての都道府県に対する誇りをもっている。 ・自分も地域社会の一員であるという自覚や、地域の人々の健康やよりよい生活環境、自然災害への対策など安全な生活、伝統や文化の保護・継承を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識などをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ノート ・ワークシート

家庭へのおお願い

○4年生の社会科では副読本「私たちの東京都」を使って、東京都についての学習を進めていきます。調べ学習が中心になります。ご家庭での様子を調べたり、ご家庭にある資料をお借りしたりすることがあります。

○学習したことから、自分の身の回りのことへ目を向け、自分たちができることは何かを考え、実践できるよう、ご家庭でも自分にできることは何かを考えさせてください。

第4学年 算数科学習計画（シラバス）

【第4学年 算数科の目標】

- (1) 小数と分数の意味と表し方について理解を深める。平面図形と立体図形、面積、角の大きさや折れ線グラフについて理解する。また、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることができる。
- (2) 目的に応じて計算の仕方を考えている。図形を構成する要素と位置関係について考えている。伴って変わる二つの量の関係を見付け、表や式を使って考えている。目的に応じてデータを集め、表やグラフに表し、解決方法や多面的な見方をしている。
- (3) 粘り強く考え、数を用いて考えることよさに気づき、生活に生かそうとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 大きい数のしくみ ② 折れ線グラフと表 ③ わり算の筆算（1） ④ 角の大きさ ⑤ 小数のしくみ ⑥ わり算の筆算（2） ⑦ がい数の使い方と表し方	① 「億」「兆」の単位について知り、十進位取り記数法について理解を深める。 ② データを二つの観点から分類整理する方法を知る。折れ線グラフの特徴とその使い方を理解する。 ③ わる数が1位数や2位数で、わられる数が2位数や3位数の場合の計算を理解する。また、その筆算の仕方について理解する。 ④ 角の大きさを回転の大きさとして捉える。角の大きさの単位「度」を知り、角の大きさを測定する。 ⑤ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知る。小数の加法及び減法の計算をする。 ⑥ わる数が1位数や2位数で、わられる数が2位数や3位数の場合の計算を理解する。また、その筆算の仕方について理解する。あまりについて適切に理解する。 ⑦ 概数が用いられる場合、四捨五入について知る。目的に応じて計算の見積もりをする。
2学期	⑧ 計算のきまり ⑨ 垂直、平行と四角形 ⑩ 分数 ⑪ 変わり方調べ ⑫ 面積のはかり方と表し方 ⑬ 小数のかけ算とわり算 ⑭ 直方体と立方体	⑧ 四則の混合した式や、()を用いた式について理解し、正しく計算する。 ⑨ 平行や垂直の関係について理解する。平行四辺形、ひし形、台形について知る。 ⑩ 大きさの等しい分数について知る。同分母の分数の加法及び減法の計算をする。 ⑪ 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表す。□、△に数を当てはめて調べる。 ⑫ 面積の単位（平方センチメートル、平方メートル、平方キロメートル）について知る。正方形及び長方形の面積を計算によって求める。 ⑬ かける数、わる数が整数の場合の小数のかけ算及びわり算の計算ができる。 ⑭ 立方体、直方体について知る。直方体に関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解する。見取り図、展開図について知る。

身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 小数と分数の意味と表し方を知り、四則計算をすることができる。 平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフについて理解できる。 整数、小数、分数の計算をすることができる。 図形の面積や角の大きさを求め、表やグラフに表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 ワークテスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数の表し方や、目的に応じた計算の仕方を考えている。 図形の構成要素と位置関係に注目し、図形の性質や大きさについて考えている。 伴って変わる数量の関係を、表や式で表して変化の法則を考えている。 目的に応じてデータを集め、表やグラフに表している。それを用いて問題解決をしたり、多面的な見方をしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 発言 ノート ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数で表されたものを多面的に捉えようとしている。 粘り強く考えようとしている。 算数で学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察

家庭へのお願い

○三角定規、コンパスに加え、4年生では、分度器を使い始めます。定規や分度器、コンパスなど算数科で活用する学習用具の適切な使い方を練習していきます。繰り返し使うことにより、それぞれの用具の自分に合った使い方を見付けることができます。家庭でも使う場面がありましたら、一緒に使い方をご確認ください。

○宿題では計算ドリル、またはプリントが出ます。これらは、基礎的な知識が身に付いているかを確認したり、計算の力を付けたりするために大切な学習です。子供たちがどんな学習をしているのかに関心をもってください。励ましてください。計算ドリルは、答えが付いていますので、子供たちは自分で丸付けをして、間違いを直すことになっています。できているかの確認をして、サインしてください。

第4学年 理科学習計画（シラバス）

【第4学年 理科の目標】

- (1) 自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して、空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 学習の過程において、自然の事物・現象から見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想しようとしている。
- (3) 問題解決の力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① あたたかくなると	① 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。
	② 動物のからだのつくりと運動	② 人の体には骨と筋肉があることを理解する。 人が体を動かすことを理解することができるのは、骨、筋肉のはたらきによることを理解する。
	③ 天気と気温	③ 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解する。
	④ 電流のはたらき	④ 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解する。
	⑤ 雨水のゆくえと地面のようす	⑤ 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解する。 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解する。
	⑥ 暑くなると	⑥ 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。
	⑦ 夏の星	⑦ 空には、明るさや色の違う星があることを理解する。
	⑧ 月や星の見え方	⑧ 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解する。 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解する。
	⑨ 自然のなかの水のすがた	⑨ 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解する。また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることを理解する。
2学期	⑩ すずしくなると	⑩ 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。
	⑪ とじこめられた空気と水	⑪ 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解する。 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解する。
	⑫ 物の体積と温度	⑫ 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解する。
	⑬ 物のあたたまり方	⑬ 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解する。
	⑭ 冬の星	⑭ 空には、明るさや色の違う星があることを理解する。 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解する。
	⑮ 寒くなると	⑮ 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。
	⑯ 水のすがたと温度	⑯ 水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを理解する。また、水が氷になると体積が増えることを理解する。
	⑰ 生き物の一年間をふり返って	⑰ 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。

身に付けさせたい力

評価の観点	理科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験を通して、様々な事象について理解することができる。 実験や観察の仕方を知り、正しく行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークテスト ノート 観察 ワークシート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 同じところや違うところを見付けようとしている。 どうしてそうなるのか考えようとしている。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 根拠をもって自分の考えを説明しようとしている。 具体的な事象の問題について、具体的な予想を立てながら観察、実験に臨んでいる。 具体的な事象の問題について、調べる方法を今までの学習や生活経験から考えている。 	

家庭へのおお願い

○理科は、身近な自然や生活経験から疑問をもち、どうなるのか予想しながら観察や実験をすることが大切です。ふだんの生活から、「何でだろう。」「不思議だな。」と感じたことを一緒に考えてください。

第4学年 音楽科学習計画（シラバス）

【第4学年 音楽科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- (3) すずんで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 音楽で心の輪を広げよう ② 歌声のひびきを感じ取ろう ③ いろいろなリズムを感じ取ろう ④ ちいぎにつたわる音楽に親しもう ⑤ せんりつのとくちょうを感じ取ろう	① 歌詞の表す様子を思い浮かべながら歌ったり、手拍子のリズムを重ねたりする。 ② リコーダーと合わせて、明るい声で歌ったり、2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながら聴いたりする。 ③ 6拍子を感じ取りながら歌ったり、拍にのったり、歌と打楽器を合わせて演奏したりする。 ④ 日本の民謡の特徴や地域に伝わる民謡を聴いたり、歌ったりする。 ⑤ 旋律の特徴を生かして歌ったり、特徴に合った吹き方で演奏したりする。
2学期	⑥ せんりつのもじりを感じ取ろう ⑦ いろいろな音のひびきを感じ取ろう ⑧ 日本の音楽でつながろう ⑨ 曲の気分を感じ取ろう	⑥ 旋律が重なり合うおもしろさや美しさを感じて演奏する。 ⑦ 音の特徴を生かして音楽をつくったり、豊かなひびきを味わいながら演奏したりする。フルートとクラリネットの響きに親しむ。 ⑧ 日本の音楽に親しんだり、5つの音で旋律をつくったりする。 ⑨ 曲の気分を感じ取って歌ったり、合奏したりする。音楽が表している様子を思い浮かべながら楽曲を聴く。

身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに関心を持ち、自然で無理のない歌い方や、友達とリズムを合わせて演奏することができる。 旋律の特徴や曲想との関わりに関心を持ち、それらを生かすために必要なタンギングや息の使い方、呼吸や発声などの技能を身に付けることができる。 日本の楽器の音色、旋律や音階などと曲想との関わりに関心を持ち、五音音階から音を選んでまとまりのある旋律をつくることことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート 演奏聴取
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や手拍子のリズムの重ね方を工夫している。 旋律の特徴などと曲想との関わりについて考え、それらに合った表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 日本の楽器の音色や音楽の特徴が生み出す曲や演奏のよさを見いだしながら聴いたり、旋律の音の動きや反復を生かしたりしてどのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて、考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 声を合わせて歌ったり手拍子のリズムを合わせたりする学習にすずんで取り組み、友達と協働して音楽活動する楽しさを味わっている。 旋律の特徴を生かした表現を工夫し、友達と協働して演奏したり聴いたりする学習にすずんで取り組んでいる。 日本の楽器の音楽を聴いたり演奏したり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、日本の楽器の音や音楽への興味・関心を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 行動観察 ワークシート

家庭へのおお願い

○鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹いた際の水滴を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。

○状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカやリコーダーの曲をご家庭で練習してください。その際、お子さんの演奏を聴いていただけると励みになりますので、ご協力をお願いします。

○日常の生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

第4学年 図画工作科学習計画（シラバス）

【第4学年 図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。
- (3) すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

1年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1学期	① よく見てかこう ② 木々を見つめて ③ 絵の具で遊んで「自分いるがみ」 ④ 光のさしこむ絵 ⑤ ようこそゆめのまちへ ⑥ 心をこめて	① 自分の身の回りにある物の形や大きさなどをよく観察して、表したいことを見付け、表し方を工夫して絵に表す。 ② 木々の形や色、触り心地などの特徴を感じて気に入った木を見付け、絵の具やクレヨンなどで形や色を工夫しながら、表し方を試したり、見付けたりして描くことを楽しむ。 ③ 絵の具で様々な表し方を試しながら模様の紙をつくり、形や色、組み合わせを考えながら工夫して絵に表す。 ④ 光を通す材料や、並べたり重ねたりする行為の中から、自分の表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。 ⑤ みんなで協力して、段ボールで大きく楽しい夢の街をつくる。 ⑥ 送りたい相手を思い浮かべながら、持参した野菜や果物を墨でかき、一言メッセージ（絵手紙）を書く。
2学期	⑦ 100色作ろう！ ⑧ 全校写生会 ⑨ 世界のごちそういただきます ⑩ まぼろしの花 ⑪ 立ち上がり！ねん土 ⑫ にじ色パステルタワー ⑬ ほってすって見つけて	⑦ 絵具の混色の経験を生かし、たくさんの色を楽しくつくる。 ⑧ 身近にある自然の色に目を向けたり、色の感じの違いの面白さなどを感じ取ったりしたことを工夫して表す。 ⑨ 世界の料理を調べることから始め、材料の使い方を工夫して、特別なお弁当を工夫してつくる。 ⑩ 不思議な球根や種から咲く、誰も見たこともないまぼろしの花を、想像を広げて絵に表す。 ⑪ 板状や紐状にした粘土を立ち上げることから表したいことを見付け、手や用具を工夫して使い立体に表す。 ⑫ コンテパステルの色の美しさを感じながら、コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消したり、描き加えたりして現れる形から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。 ⑬ 感じたことや想像したことなどを木版画に表すために、彫刻刀の扱いに慣れ、木版画の特徴を理解して工夫して表す。

身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途等を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価

家庭へのおお願い

○必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。

○持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。

○道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

第4学年 保健体育科学習計画（シラバス）

【第4学年 保健体育科の目標】

- (1) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方や、体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付ける。
 (2) 「自分の運動」や「身近な生活における健康」の課題を見付け、その課題の解決方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えることができる。
 (3) ①決まりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動しようとしている。②友達の考えを認めようとしている。③場や安全に気を付けて運動しようとしている。④最後まで努力して運動しようとしている。⑤健康の大切さに気付き自分の健康の保持推進にすすんで取り組もうとしている。以上5点の態度を養うことができる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・多様な動きをつくる運動 ② 走・跳の運動 ・かけっこ、リレー ③ 投の運動 ④ ゲーム ・ベースボール型ゲーム ⑤ 器械運動 ・鉄棒運動 ⑥ 水泳運動 ・浮いて進む運動 ・もぐる浮く運動 ⑦ 表現運動 ・表現 ⑧ 保健・体の発育・発達	① 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、友達と関わったりする。多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる運動、体を移動する運動、用具を操作する運動、力試しの運動、基本的な運動を組み合わせる運動をする。 ② かけっこ、リレーでは、その行い方を知るとともに、距離を決めて調子よく最後まで走ったり、走りながらバトンの受渡しをする周回リレーをしたりする。 ③ 遠くにカー杯、物を投げる。 ④ ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをする。 ⑤ 鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した支持系の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前回り下り、かかえ込み前回り、転向前下り、膝掛け振り上がり、前方片膝掛け回転、補助逆上がり、かかえ込み後ろ回り、後方片膝掛け回転、両膝掛け倒立下りである。 ⑥ 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎ（呼吸しながらのばた足泳ぎやかえる足泳ぎなどの近代泳法の前段階となる泳ぎ・近代泳法の手や足の動かし方にこだわらない泳法）をする。もぐる浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をする。 ⑦ 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊る。 ⑧ 体の発育・発達について理解する。
2学期	⑨ 走・跳の運動 ・高跳び ⑩ 表現運動 ・リズムダンス ⑪ 走・跳の運動 ・幅跳び ⑫ 走・跳の運動 ・小型ハードル走 ⑬ 器械運動 ・マット運動 ⑭ ゲーム ・ネット型ゲーム ⑮ 器械運動 ・跳び箱運動 ⑯ ゲーム ・ゴール型ゲーム	⑨ 高跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切って高く跳ぶ。 ⑩ リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊る。 ⑪ 幅跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から強く踏み切って遠くへ跳ぶ。 ⑫ 小型ハードル走では、その行い方を知るとともに、小型ハードルを自己に合ったリズムで走り越える。 ⑬ マット運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前転、易しい場での開脚前転、後転、開脚後転、補助倒立ブリッジ、側方倒立回転、首はね起き、壁倒立、頭倒立である。 ⑭ ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをする。 ⑮ 跳び箱運動では、その行い方を知るとともに、自己の能力に適した切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をする。また、基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組む。基本的な技とは、開脚跳び、台上前転、首はね跳びである。 ⑯ ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをする。

身に付けさせたい力

評価の観点	保健体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動の行い方を知り、基本的な技能を身に付けることができる。 体の発育・発達について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 学習カード 学習プリントや単元のテスト（保健領域）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分の運動の課題を見付けようとしている。 課題解決のために活動を工夫している。 自分が考えたことを仲間や全体へ伝えようとしている。 体の発育・発達についての課題を見付け、その解決方法を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード 仲間への声掛け 観察
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 決まりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動している。 友達の考えを認めている。 場や安全に気を付けて運動している。 最後まで努力して運動している。 健康の大切さに気付き自分の健康の保持推進にすすんで取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 発言

家庭へのおお願い

- 毎日、体の柔軟のためのストレッチを行うようにしてください。
- 1日30分以上は、体を動かす時間をつくってあげてください。
- なわとびや鉄棒は、年間を通してご家庭でも取り組んでください。

第4学年 総合的な学習の時間 学習計画（シラバス）

第4学年 総合的な学習の時間科の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめたり、表現したりしている。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 都道府県を調べよう	① 学習用端末を使って都道府県について調べる。
	② 岩井移動教室に行こう	② 岩井の地域についてや、岩井移動教室で訪れる場所についてなど、岩井移動教室に向けて、調べ学習を行う。
	③ センサーを使ってみよう	③ プログラミングを行う。
2学期	④ 住んでいる地域の防災を考えよう	④ 社会科「自然災害から人々を守る」で学習した内容に関連させ、自分たちが住んでいる地域の防災について調べ、考える。
	⑤ 考えよう、自分たちにできること	⑤ 高齢者体験を通して、高齢者に対して自分たちにできることを調べ、考える。

身に付けさせたい力

評価の観点	総合的な学習の時間で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の思いや工夫を理解することができる。 ・考えたことをプログラミングによって動かすことができる。 ・学習端末の使い方を理解し、調べ学習などに活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・制作物
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながフィールドワークの計画を立てようとしている。 ・人に聞いたり、図書館やICTを活用して調べたりして、必要な情報を集めることができる。 ・集めた情報を表やグラフ、思考ツール等を用いて分類・整理し、特徴を見付けようとしている。 ・他教科で培った表現力等を生かし、相手に応じて分かりやすく表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・制作物
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人と協力して探究活動を行おうとしている。 ・探究活動の中で、自分や友達の意見や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとしている。 ・地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・制作物

家庭へのお願い

○自ら課題を立て、探求していく学習です。人に聞いたり、図書館やICTを活用して調べたりして、必要な情報を集めていきます。ご家庭でお子さんが相談することがあると思いますので、アドバイスやご協力をしてください。

第4学年 道徳科学習計画（シラバス）

【第4学年 道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① なにかお手つだいでできることはありますか？ ② また来年も待ってるよ ③ やったぞ！漢字テスト ④ どんどん橋のできごと ⑤ 合い言葉は「話せばわかる！」 ⑥ ひびが入った水そう ⑦ がんばれ、ぼくのからだ！ ⑧ いっしょになって、わらちゃだめだ ⑨ となりのせき ⑩ 「もっこ」をせおって ⑪ いっしょに遊ばない ⑫ ふろしき ⑬ わたしの見つけた小さな幸せ ⑭ 日ごろの気持ちをつたえよう ⑮ 一びきのセミに「ありがとう」 ⑯ 目ざまし時計 ⑰ お母さんのせいきゅう書 ⑱ 日曜日のパーベキュー ⑲ 「ふれあいの森」で ⑳ ドッジボール	① 親切・思いやりについて考える。 ② 自然愛護について考える。 ③ 希望と勇気、努力と強い意志について考える。 ④ 節度ある生活について考える。 ⑤ 相互理解について考える。 ⑥ 正直について考える。 ⑦ 生命の尊さについて考える。 ⑧ 善悪の判断、自律について考える。 ⑨ 公正・公平・社会主義について考える。 ⑩ 勤労について考える。 ⑪ 友情・信頼について考える。 ⑫ 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度について考える。 ⑬ 生命の尊さについて考える。 ⑭ 感謝について考える。 ⑮ 感動、畏敬の念について考える。 ⑯ 節度ある生活について考える。 ⑰ 家族愛、家庭生活の充実について考える。 ⑱ 規則の尊重について考える。 ⑲ 自然愛護について考える。 ⑳ 善悪の判断、自律について考える。
2学期	㉑ ふるさとを守った大イチョウ ㉒ 秋空にひびくファンファーレ ㉓ ぼくらだってオーケストラ ㉔ 「ありがとう」の言葉 ㉕ 点字メニューにちょうせん ㉖ ふくびき ㉗ うめのき村の四人兄弟 ㉘ 小さなお父さん ㉙ ハルバオの木 ㉚ 雨のバスでいりゅう所で ㉛ 花さき山 ㉜ 大きな絵はがき ㉝ 世界の小学生 ㉞ ポロといっしょ ㉟ 花丸手帳とともに～池江璃花子選手のちょうせん	㉑ 国や郷土を愛する態度について考える。 ㉒ 自分の学校のよさについて考える。 ㉓ 友情・信頼について考える。 ㉔ 礼儀について考える。 ㉕ 勤労について考える。 ㉖ 正直・誠実について考える。 ㉗ 個性の伸長について考える。 ㉘ 家族愛、家庭生活の充実について考える。 ㉙ 生命の尊さについて考える。 ㉚ 規則の尊重について考える。 ㉛ 感動、畏敬の念について考える。 ㉜ 友情・信頼について考える。 ㉝ 国際理解、国際親善について考える。 ㉞ 親切・思いやりについて考える。 ㉟ 希望と勇気、努力と強い意志について考える。

身に付けさせたい力

道徳科を要として道徳教育を通して期待される具体的な姿

- ・自分のことは自分でい、よく考えて行動することができる。
- ・正しいと判断したことは、勇気をもって行うことができる。
- ・相手のことを思いやり、すすんで親切にしようとしている。
- ・生命の尊さを知り、大切にしようとしている。
- ・約束やきまりを守ろうとしている。
- ・自らを振り返って成長を実感しようとしている。
- ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

家庭へのお願い

○「特別の教科 道徳」では、学校の教育活動を通じて行う全教育課程の基礎となる「よりよく生きる力」を育てていきます。成長を見守り、努力を認めたり、励ましたりすることによって、子供が自らの成長を実感し、さらに意欲的に取り組もうとする気持ちをもてるよう声掛けをしてください。